



“Information Harvesting”

EverySense & Linked Open Data チャレンジ Japan2014 オープンデータ・プラットフォーム & リアルセンサーデータ ハッカソン発表会開催のご案内

2015年1月22日

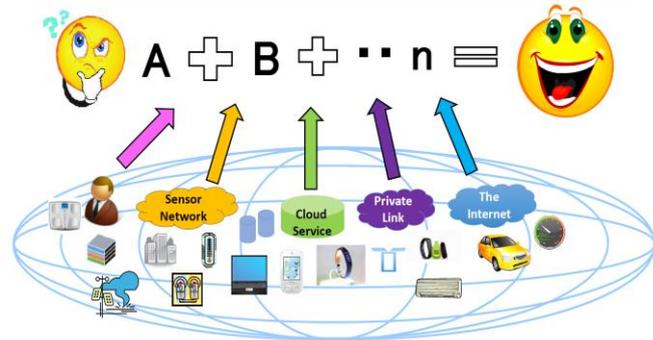
EverySense では、Linked Open Data チャレンジ Japan2014 と共催で昨年11月29日東京にてIoT分野において、様々なセンサーから得られるデータや、インターネット上のオープンデータを使ったアプリケーションやサービスのアイデアを、リアルタイムセンサーデータと組み合わせて新しい事業創出に向けたアプリ アイデア コンテストを開催し、40を超えるアイデアの中からベスト8のアイデアを選定しました。

また12月23日に実施したワークショップでは、アイデアを具現化するため、EverySenseサーバーおよびAPIの説明とワークショップを開催し、リアルタイムセンサーデータを収集し利用する方法を体験いただきました。そしてこの度1月31日に実施いたしますハッカソン発表会にてIoTに対応したアプリケーションを発表していただき、最終審査を行います。

テーマ：センサー情報を活用した新しいアプリを考えよう

世界中のセンサーデータをどんな組み合わせで使ったら、どんな価値が生まれて、社会の課題解決や、安心安全で幸せな生活になるのだろうか。

- 新たな「希少価値」を探す
- 違うもの同士を組み合わせる
- アイデアを可視化させる



背景：

インターネットの進化で、異業種間をつなぐ新たなビジネスが生まれています。またこれまでインターネットがほとんど活用されていなかった業種にインターネットを活用することで、大きな生産性を上げることが期待できるようになってきました。さまざまなモバイルアプリケーション、デバイス、センサーが大量データを生成する Internet of Things (IoT) 時代は、Machine to Machine (M2M) やセンサー技術など、モノとモノがつながり情報を収集しています。ここで重要な鍵を握るのが、膨大で多種多様なデータの活用と可視化になってきます。

EverySense では、この大規模に増え続ける様々なデータを組み合わせ人々が幸せになる価値を創出するために新たなアプリケーションやサービスの研究開発ができるようになることを目指しています。

EverySense Inc.,

CEO 眞野 浩



“Information Harvesting”

EverySense & Linked Open Data チャレンジ Japan2014 オープンデータ・プラットフォーム&リアルセンサーデータ ハッカソン発表会開催概要

開催日時	2015年1月31日(土)14:00~17:30 (受付:13:30~)
開催場所	インフォコム株式会社 本社 11階会議室 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-34-17 住友不動産原宿ビル
主催	EverySense, Inc. Linked Open Data チャレンジ Japan 2014
協賛	インフォコム株式会社、オムロン株式会社
参加費	無料
申込み方法	<p>info@every-sense.com 宛に以下の内容のメールをお送りください。</p> <p>-----</p> <p>所属(会社名・大学名): 氏名: E-mail: -----</p> <p>※メールのタイトルは「ハッカソン発表会申込み」としてください。 ※参加申込受付確認のメールを送信しますが、受け取っていない方、心当たりのない方は以下のお問い合わせからご連絡ください。 ※参加票と当日のプログラムは順次参加者にメールにてご案内いたします。</p>
申込締切り	2015年1月29日(木)
審査基準	創造性、独創性、発展性、有益性、実用性などがあるか。 ※内容や詳細な審査基準に関しては、お答えできませんのでご了承ください。
審査方法	審査員による審査会を実施いたします。 ※内容や詳細な審査基準に関しては、お答えできませんのでご了承ください。
審査員	<p>菊池 豊: 高知工科大学 連携研究センター 教授 荒川 豊: 奈良先端科学技術大学院大学 ユビキタスコンピューティングシステム研究室 准教授 柏崎 礼生: 大阪大学 サイバーメディアセンター 助教 高梨 益樹: LOD チャレンジ実行委員会副委員長 (富士通 イノベーションビジネス本部 コンバージェンスサービス統括部 インテリジェントコンピューティング部) 生越 昌己: WASP 株式会社 代表取締役 真野 浩: EverySense, Inc. CEO</p>

2015/1/22 現在

表彰

優秀な作品を発表したグループ代表者、または個人を表彰いたします。以下の賞品を予定しておりますが、各賞については「該当無し」となる場合があります。

● 最優秀賞

アイデアソン、ハッカソンを通して優秀と認められる個人に対して米国シリコンバレー(4泊6日)のベンチャー企業の視察旅行にご招待いたします。(2015年中実施予定)

ベストアイデア賞

— ベストアイデアを事業化・開発する際に EverySense, Inc.が支援をいたします。

参加賞 (上記受賞者以外全員)

— ギフトカード(500円相当)

留意事項

成果物の権利・利用について

(1) 協力機関の素材自体および主催者等が撮影・録音した写真・動画・音声等を除いて、本イベントにおいて参加者が創作・開発した成果物(ソフトウェアその他の著作物、発明、アイデア、ノウハウ、コンセプト等を含みますがこれらに限定されません)の知的財産権は、参加者および主催者等との共有とします。参加者および主催者等は、互いになんらの制限なく無償で、非独占的に、自らの責任において当該成果物を自由に利用することができるものとします。

(2) 参加者は、他の参加者、主催者等およびこれらの者が指定する第三者に対し(1)に規定する成果物にかかる著作権人格権を行使しないものとします。

(3) 前2項に関わらず、協力機関の素材を利用した成果物を商業利用する場合は、協力機関の事前の同意が必要となります。

(4) 参加者は、自らが創作・開発した成果物の内容が、自らのオリジナルであり、第三者の著作権を侵害するものではなく、また公序良俗に反するものではないことを保証するものとします。

参加者の秘密情報について

- 参加者は、参加者が非公開を望む情報、著作物、発明、アイデア、ノウハウ、コンセプト等を本イベントで開示しないものとします。

主催者等の秘密情報について

- 本イベントにおいて主催者等が参加者に対し、秘密であることを明示した秘密情報を提供した場合、参加者はその秘密情報の取り扱いに関し、主催者等の指示に従わなければならないものとします。
- 参加応募にご提供いただいた個人情報は、当社が取得し、管理を行います。当社は、当社の[個人情報保護方針](#)に従って応募者の情報を取り扱うものとし、本イベントの実施に必要な範囲を超え、または[個人情報保護方針](#)に表明する目的以外に利用することはありません。



“Information Harvesting”

環境

1. 主催者から無償提供されるもの

電源、インターネット環境(無線 LAN)、電源タップ、プロジェクタ。

2. 参加者が各自負担するもの

持ち込みノートブック PC(タブレット、スマホ等)、プレゼンテーション、現地までの交通費など

<本件に関するお問合せ先>

エブリセンスジャパン株式会社 ハッカソン事務局

E-mail: info@every-sense.com

以上、